

「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」(案)

1 「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」策定の趣旨

【文章で示す予定の主な内容】

- ・ 乳幼児期の幼児教育・保育は生涯にわたる人間形成や人格形成の基礎を培う重要なもの。
- ・ 幼児教育の推進体制構築事業（平成28年度～平成30年度）における人材育成に向けた取組。
- ・ 乳幼児教育保育支援センターの開設を含めた、幼児教育・保育の一体的な質の向上へ向けた取組の推進。

2 人材育成を進めていく上での課題等

【文章で示す予定の主な内容】

- ・ 人材育成に関する取組は、公立・私立ごとに、さらに幼稚園・保育園等といった園種ごとに実施されていることが多く、また、幼稚園教諭・保育士等に求められる資質・能力が共通のものとして整理されていない。
- ・ 社会人としてのマナー（言葉遣い、挨拶等）やコミュニケーション能力、主体的に学び続ける姿勢が十分に身に付いていない幼稚園教諭・保育士等がいる。
- ・ 幼児教育・保育に関する法令等の知識を保育実践に結び付ける力が十分に身に付いていない。
- ・ 特別な支援を要する子どもや、外国にルーツを持つ子どもが増加していることに十分な対応ができていない。
- ・ 他の園や小学校との連携を視野に入れた幼児教育・保育が十分に行われていない。

3 人材育成の方向性

【文章で示す予定の主な内容】

- ・ 社会人としての基礎的・基本的な資質・能力と、幼稚園教諭・保育士等としての成長段階ごとに必要となる資質・能力を示しキャリアコースに応じた育成を目指す。
- ・ 公立・私立、幼稚園・保育園等といった所属する園に関わらず自らの専門性を発揮できる幼稚園教諭・保育士等の育成を目指す。
- ・ 幼稚園教諭・保育士等が、幼稚園教育要領・保育所保育指針等に基づいて子どもの育ちや学びを支える実践力を身に付けることを目指す。
- ・ 社会経済情勢の変化を踏まえて、子どもの特性に応じて柔軟に対応できる力を身に付けることを目指す。
- ・ 小学校教諭、幼稚園教諭、保育士等が相互の役割を理解し、小学校への円滑な接続に向けた幼児教育・保育を行うことができることを目指す。

(1) 目指す保育者の姿

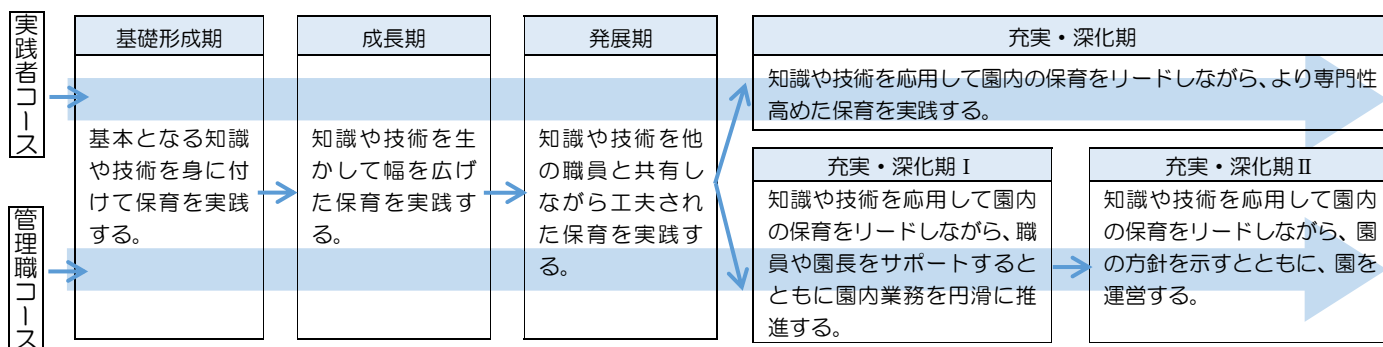
- ア 子どもの特性や発達に即した保育を行う
- イ 子どもとの信頼関係を基盤とする保育を行う
- ウ 子どもの主体的な活動を引き出す適切な環境構成を行う

(2) キャリアコースと必要となる資質・能力

【文章で示す予定の主な内容】

- ・ 保育者が、将来どのような保育者を目指すのかをイメージするための2つのキャリアコース（保育実践の専門家を目指すコース、園等の管理職を目指すコース）を設定する。
- ・ 各段階において、保育者に必要となる資質（倫理観、責任感、協調性）や能力（保育の計画を立案する力、保育を展開する力、組織を運営する力）を設定する。

① キャリアコース



② 必要となる資質・能力の一覧

区分		基礎形成期	成長期	発展期	充実・深化期	
					充実・深化期Ⅰ	充実・深化期Ⅱ
役割の例		クラス担任・学級担任など		学年主任、チーフ、主任、副園長など		園長など
資質	社会人としてのマナー・コミュニケーション能力・主体的に学ぶ姿勢	倫理観	組織の一員として園の方針等を理解するとともに、常に法令を遵守しながら行動ができる。			
			園の方針等や法令の遵守について、適切に助言・指導することができる。			
			組織の代表者として、常に法令を遵守しながら園の方針を示すことができる。			
	責任感	組織の一員として専門性を高めるために絶えず研鑽し役割を果たすことができる。				
		役割を果たすことについて、適切に助言・指導することができる。				
		組織の代表者として、園運営における役割を果たすことができる。				
	協調性	組織の一員として他の職員、保護者、地域住民等と良好な関係を築くことができる。				
		職員や保護者、地域住民等と良好な関係づくりについて、適切に助言・指導することができる。				
		組織の代表者として、保護者や地域住民等との調整を図ることができる。				
能力	社会人として素早く行動する力	保育の計画を立案する力	保育計画の意義を理解した保育の計画を立案することができる。		子ども理解に基づいて環境構成や援助の手立てなどを踏まえた保育の計画を立案することができる。	
			保育の計画を立案することについて、適切に助言・指導することができる。		保育の計画を正しく評価し、改善につなげることができる。	
	社会人として素早く行動する力	保育を展開する力	子どもの興味・関心のある遊びを理解した保育を展開することができる。		子どもの主体性を大切にし、子どもの発達に即した保育を展開することができる。	
			保育を展開することについて、適切に助言・指導することができる。		保育の展開を正しく評価し、改善につなげることができる。	
	社会人として素早く行動する力	組織を運営する力	担当するクラス等の運営や園内業務などを遂行することができる。		園全体の動きを視野に入れて、担当するクラスの等の運営や園内業務などを遂行することができる。	
			クラス等の運営や園内業務を遂行することについて、適切に助言・指導することができる。		組織の運営を正しく評価し、改善につなげることができる。	

4 具体的な取組

- ・ 「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」に基づく「幼稚園・保育士等の一体的な研修体系」の作成
- ・ 乳幼児教育保育アドバイザーを活用した保育者の支援
- ・ 乳幼児教育保育支援センターからの実践事例等の情報発信